

R5 藁科中グループ校 小中一貫教育構想図

藁科中学校



中藁科小学校



清沢小学校



水見色小学校



視点1：目標の共有

藁科中G 学校教育目標

自立する子

やりたいことを自分で見つけ、他と関わりながら自分なりの思いを持って主体的に行動する

視点2：連続性・系統性

自主自律の力

○タイムマネジメント力の育成

自分の生活を見つめ、計画的な家庭学習の実践を通して、見通しをもって生活する力を育成します。

○自発的・自治的な活動の推進

子ども発信の企画や子ども主体の運営を通して、自分たちで自分たちの生活をよりよくする力を育成します。

学ぶ力

○わらしな学 軸となる取組

～「ふるさと藁科」の強みと
願いを生かした特色ある学習～
地域の「ひと・こと・もの」
に関わって探究的に学び、地域を愛する子、地域に貢献できる子を育成します。

○一人一人が主体的に学ぶ授業

学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりすることを通して、将来にわたって学び続けることができる力を育成します。

つながる力

○さわやかなあいさつ

学校でも家庭でも地域でも、場に応じたあいさつの実践を通して、コミュニケーション力を育成します。

○縦割り活動の充実

学年を超えた交流を通して、多様な考えに触れるなどコミュニケーションの幅を広げ、相手や集団のことを考えた行動ができる力を育成します。

視点3：協働・交流

児童生徒の交流活動

○小学校間の交流

他校の友達を交えた集団での学習や遊びの共通体験を通して、多様な他者と積極的に関わり自己表現する力を育成します。

○小学校と中学校の交流

各学校の学習発表会や一日体験入学、児童会・生徒会の交流などを通して小中のつながりを深め、自己肯定感や自己有用感を育成します。

教職員の協働

○小・中学校授業参観（4月・11月）

児童・生徒の実態把握や意見交換を行い、9年間のゴールの子どもの姿を全職員で共有します。「わらしな学」の授業研修会を実施し、めざす子どもの姿を確認します。

○夏季合同研修会（8月）

「軸となる取組」を中心に研究協議や意見交換を行い、系統性や連続性を確認します。

視点4：地域連携

地域に開かれた学校

地域の方を講師に迎えた特別授業、行事での協働、学校応援団活動など、地域と連携し、地域を生かした教育活動を実施します。

学校統合準備委員会

4校の校長、教頭、自治会代表、PTA代表、学校評議員等で組織し、子どもの実態および学校や子どもへの願い、教育活動への支援、地域と学校との協働について協議し、統合に向けて準備します。